

＜公益活動報告書チェックリスト＞

Ver. 131129

■団体名

受付者（北・南・西・東・中： ）

※下記項目を自己チェック後、申請窓口で再度チェックを受けてください。☑がつけられない項目がある場合、審査機関にて検討後、再度ヒアリングさせていただくことがございます。

団体 ☑	受付者 ☑	項 目
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>「構成員（※注）」や「会員」だけでなく、「会員以外の人」も活動の恩恵（サービス）が受けられる。</p> <p>→入会しなければサービスが受けられない形態の会は「会員相互の活動」となり、公益的と判断できないため登録できません。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>岡崎市民のための活動である。</p> <p>→①活動の場がすべて岡崎市外であった場合 ②事務局所在地が市外で、活動の半数以上が市外の場合 は申請ができません。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>実績は申請日1年以内の活動で、かつ、継続的と判断できる。</p> <p>→古すぎる実績は不可。1年以内に公益活動を実施している必要があります。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>会員相互の勉強会、あるいは健康増進や教養・スキルの向上が主目的ではない。</p> <p>→「公益活動」は広く岡崎市民の課題解決に結びつく活動を指すため、会員相互のための活動は「公益活動」とは認められません。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>家元、流派の活動ではない。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>「内容と効果」に「効果」も記載されている。</p> <p>→実施した内容のみの記載は不可。また単に「喜ばれた」「楽しんでいただけた」だけでなく、<u>会のどのような活動が、どのような課題解決に結びついたかを評価し記載</u>してください。「公益活動報告書（記入例）」を参考にご覧ください。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>（発表や展示、慰問活動を実績とする場合）</p> <p>それが直接的な課題解決の場であり、会の活動の主目的と合致している。</p> <p>→単なる成果発表は「公益活動」とは認められません。会の目的に沿った活動である場合のみ、実績とみなすことができます。</p>

※注）**構成員**とは・・・継続的に所属し、会の運営（役員など）に直接携わっている人（役員、議決権がある人）などをいいます。会のイベントのみの参加者、子どもなど、会の役員を担うことができない人は会員であっても構成員ではありません。